

one for all, all for one

できるようになる
介護過程の展開

Syllabus

Name



～介護過程の展開へのご招待～

介護の定義はさまざまであるが、介護の本質は高齢や障害によって生じる生活上の困難や不便を少しでも解消し、ご利用者が持っている能力を發揮していただき

ご利用者本人が望むその人らしく**生きて**

暮らしていく 支えとなる**意図的な支援**と

理解されています。**将来すてきな介護福祉士**となる

みなさんにとって実際に介護支援を遂行するために必

要な**介護計画**に関する一連の学びです。

みなさんが介護に従事したと時、学んで良かったと思

えるはずです。私は、そのことをお約束致します。



この授業を構成する人

介護過程の展開の担当者の自己紹介

【資格等】介護福祉士・実務者研修教員

福祉用具専門員・認定介護福祉士 4 単位履修等

【活動】 県介護福祉士会

【趣味】音楽鑑賞・映画鑑賞

【メッセージ】社会福祉協議会、介護老人保健施設、透析室など多岐に渡り医療と福祉に従事してきました。きっと、みなさんのお役にたてると思います♪そして、みなさんにお会いできることを何より楽しみにしてきました♪

🎵 ○○福祉教育専門学校 🎵

介護福祉士科 2 年 ○ クラスの 20 名のみなさん

一人ひとり、個性豊かな学生のみなさんが仲間と楽しく学び共に成長していくために、お互いを認め合い異なる意見に耳を傾けよう♪ *"one for all, all for one"*

(一人はみんなのために、みんなは一人(目的)のために)

みなさんも簡単な自己紹介を考えておいてね

～この授業の目的～

- 介護福祉士になるために介護過程の展開の基本的理解と実践でできる力を習得すること。
- カリキュラム領域「生活支援技術」と「ところとからだのしくみ」を関連あるものと捉えられ心身の状況に応じた介護が考えられること。
- 課題と目標が分かり計画を立てられる基本的技術の修得すること。
- グループワークを行なうことによりチーム連携が図れるようになること。また、これから社会にでるみなさんにとって必要なスキル（書く、聞く、伝える、共同）も身につけてしましましょう♪



メインテーマ

『介護計画を作成する』

～その人にとって望む幸せ、毎日が最高！ の日を
みんなでデザインしよう！～

みなさん全体の目標

①	介護福祉士として、必要な「介護過程の展開」の 基本的な考え方及び技術 を理解する。
②	介護福祉士として必要な「介護過程の展開」に関する 用語やがいねん概念 を理解する。
③	介護福祉士として必要な「介護過程の展開」を 実践的に活用 することができる。
④	グループディスカッションを通じ 活発な意見 が言えるようになる。
⑤	グループワークを通じて 異なる意見を認め合い協力して取り組む ことができる。
⑥	社会人にとって必要な文章能力や伝える能力を身につける。

達成課題

介護過程の必要性

- ① 介護が必要な人はどんな人か説明できる。
- ② 介護過程の意義と目的の理解ができ説明できる。
- ③ 自立支援と利用者本位のイメージができ具体的に説明できる。

ICF モデルの基本的考え方と活用

- ① ICF モデルの基本的理解ができ、身近な人物や登場人物で分類することができる。

介護計画作成の思考

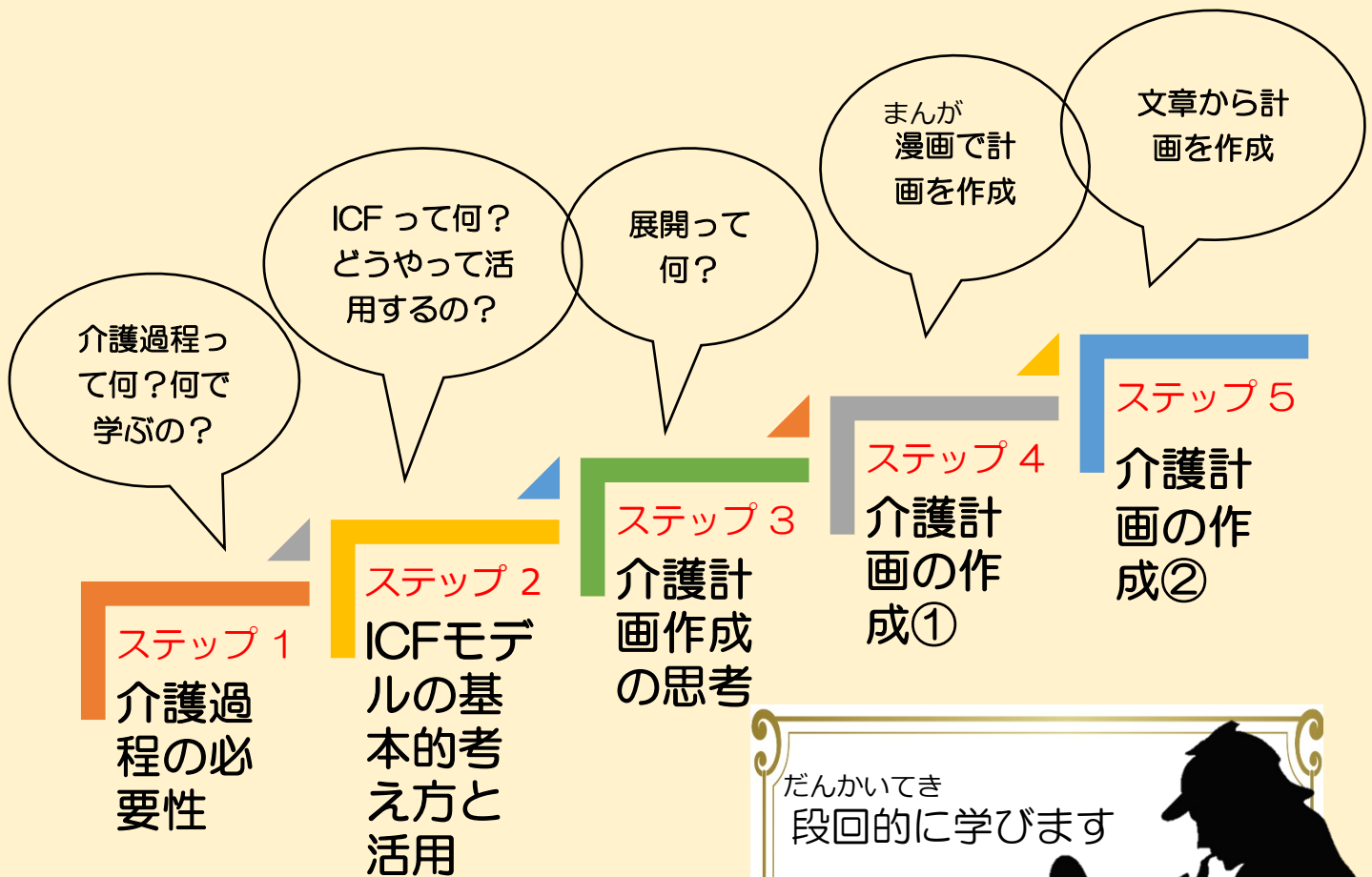
- ① 「PDCA」「情報収集」「インフォームド・コンセント」「目標の立て方」の基本的理解ができ、介護計画のサイクルが説明できる。

介護計画作成

- ① 介護を必要とする人(漫画ヘルプマン)を設定とした ICF モデルの分類と必要なキーワードを関連付けすることができ、長期目標と短期目標が立てられ、具体的な支援計画が作成出来る。
- ② 活字からの事例(アクティブ・ラーニングで学ぶ介護過程ワークブック)で介護計画が作成できる。

みなさんが分からないところを、
みんなと一緒に
そう『パズル』のピースを
集めるように
そして、ピースを組み立てるよう
に介護計画を作成しよう





おもな楽しい授業方法

【仲間との共同】

- 1.みなさんは、グループディスカッションでとうぎ討議します。
- 2.みなさんは、グループワークで仲間と協力します。
- 3.みなさんは、グループで発表します。

【楽しい授業】

1. 私は（教員は）、アクティブ・ラーニングで学ぶ事が楽しい授業を展開します。



～みなさんへのお願い～

- 1) 仲間一人ひとりの個性を大切にしてください
- 2) みんなで学ぶということ（協力）
- 3) 毎回のコメントカード（出席扱いにもなります）と毎回の課題（アサインメント）は必ず提出してください。コメントカードは翌日までに。アサインメントは次回授業の2日前までに提出と致します。
- 4) 安全に学ぶために感染^{たいさく}対策をしましょう。
- 5) 楽しく学んじゃいましょう。

～私（教員）が守ること～

このシラバスは、学びの手引書とも言えます。これを見れば、できるようになることや次回の内容や課題が分かるようになっていますので、けっしてシラバスの変更はいたしません。

また質問や分からないことに対して、**ていねいにお答え致します。**

【学びの場所】

〇〇福祉教育専門学校 〇〇クラス

【学びの時間】

毎週水曜日、1 限目 9：00～10：30（90分）

【学びの回数】

全 15 回（22.5 時間）

【毎回の課題】

学びを深めるために事前にアサインメント（事前課題）を提出していただきます。

※課題をしないと、大切な仲間が困ってしまうかもしれない。

【最終課題】

介護過程の理解を示すためにレポートを提出して頂きます。

【持ち物】

毎回授業の終わりに説明いたします。

主な使用教材

- 介護過程の展開テキスト（オリジナル）
- PowerPoint（自作）・資料教材（オリジナル）
- アクティブ・ラーニングで学ぶ介護過程ワークブック（株式会社みらい 2019 年代 2 刷）
- 副材：まんが「ヘルプマン 2 巻」
- 参考教材：介護福祉士養成テキストブック「介護過程」（ミネルヴァ書房）
- 参考教材：介護実習指導者テキスト（社会福祉法人 全国社会福祉法人）

『介護過程の必要性』	
第1回	私の自己紹介。みなさんの自己紹介。 「シラバス～介護課程の展開の学びへのご招待」説明。「介護とは何か」「支援を必要とする人はどんな人か」
アサインメント	『介護計画について自分なりの考えをまとめましょう』指定用紙あり 400字以内。自由記述式。
第2回	「介護過程とは」「利用者本位と自立支援」
アサインメント	『自分の性格や生まれ育った環境（家族構成）今自分の活動、自分の役割、自分の願い（望むこと）、を考えまとめましょう』。指定用紙あり 400字以内。自由記述式。
『ICFモデルの基本的考え方と活用』	
第3回	「ICF生活機能モデル」って何んだろう。
アサインメント	『名探偵コナン、サザエさん、鬼滅の刃からアニメを1つ選び主人公について調べてみよう（アセスメント）』指定用紙あり 400字以内。自由記述式。
第4回	ICFの題材をアニメ「名探偵コナン」「サザエさん」「鬼滅の刃」のうち1つ決めグループでICF生活機能モデルにそって分類してみよう。
アサインメント	『第3回の授業での分類ができなかったグループは完成させましょう。完成しているグループは、修正しましょう』※模造紙にまとめる。使用教室は指定します。
第5回	第4回の発表を模造紙にまとめグループで発表しよう。
アサインメント	『自分の目標は何ですか、また目標を達成させる時何が必要ですか』の考えをまとめましょう。指定用紙あり 400字以内。自由記述式。
『介護計画作成の思考』	
第6回	「PDCA」サイクルって何だろう。「チーム連携や他職種連携」とは何だろう。
アサインメント	『何か情報が知りたいときの手段は何ですか』を考えまとめましょう。指定用紙あり 400字以内。自由記述式。

第7回	「情報収集」ってどうやってするの。
アサインメント	『生活上自分の納得いかないことを強制させられたらどう感じますか』を考え、まとめましょう。指定用紙あり 400字以内。自由記述式。
第8回	「インフォームド・コンセント」って何だろう。「目標の立て方」
アサインメント	『副材の漫画「ヘルプマン 2」を読んで岡〇鹿〇さんのアセスメントをキーワードで、できるだけ沢山書きましょう』指定用紙あり。最低 30 個のキーワードとする。
『介護計画の作成①』	
第9回	「漫画：ヘルプマン 2」を読んで情報収集し、ICF 生活機能モデルを使用しグループで分類しよう。
アサインメント	『第 8 回の授業で分類が出来なかったグループは、完成しているグループは、見直しをしましょう』指定用紙あり。※使用教室は指定します。
第10回	第 9 回の続き「ICF 生活機能モデル」のキーワードを関連付けし、課題を見つけ長期目標と短期目標をグループで設定しよう。
アサインメント	『第 10 回の授業での関連付け、目標設定ができた上で具体的な支援方法を考えまとめましょう。指定用紙あり。』
第11回	第 10 回の続きグループで「具体的な支援方法を」考えよう。注意点：その支援の根拠として「生活支援技術」「こころとからだのしくみ」「人間と社会」の学びを入れましょう。グループ発表の準備（模造紙にまとめる）。
アサインメント	『グループの介護計画発表のためのプレゼンテーションの進め方やその他の準備をしましょう』使用教室は指定します。
第12回	第 9 回～11 回の介護計画をグループで発表しよう
アサインメント	『アクティブ・ラーニングで学ぶ介護過程ワークブックの指定ページを読んで、アセスメントしましょう』指定用紙あり。文字数不問。

『介護計画の作成②』	
第13回	事例（漫画でなく文字として）を読み取る力を身につけよう（スーパービジョンの考え方）。 ・教材「アクティブ・ラーニングで学ぶ介護過程ワークブック」の事例を使用し、グループで介護計画を立てよう。
アサインメント	『グループで第13回の授業で完成できなかった所をみんなで考えまとめましょう』指定用紙あり。 文字数不問。
第14回	第13回の続きとグループでの介護計画発表準備。
アサインメント	『グループの介護計画発表のためのプレゼンテーションの進め方や準備をしましょう』※模造紙にまとめる。使用教室は指定します。
第15回	「グループで第13回から14回までの介護計画を発表」「介護計画の評価について」「全体の振り返り」「この教科の最終課題の説明」質疑応答。
アサインメント	なし

～仲間と楽しく学ぶために～

この介護過程の展開授業では、「グループワーク」「グループディスカッション」「アイスブレイク」「ローププレイ」「KJ法」「ブレインストーミング」などの方法を取り入れています。 **そこでお願ひです。**

- きちょう仲間の貴重な意見を否定しない。（そう言う意見もあることを受け止める）
- 時間を守り、役割をはたそう。
- 「KJ法」や「ブレインストーミング」では、とにかく沢山アイデアをだそう。
- ※KJ法、BS法の説明は、授業時いたします。

評価方法

- a. 出席状況：毎回のコメントカードで出席したものとします。※次の日までに提出してください。
- b. アサインメントの提出：プラス学びへの参加度（自分の意見が言える。他者の意見について理解や共同ができる）について、^{せっきょくてき}積極的に学びに^{こうけん}貢献していれば1点加点します。
- c. 最終課題（レポート）：基本的介護介護過程の展開が理解でき、実践的な計画が立てられる。

【評価の比重】 a.30点 b.20点 c.50点

【合格ライン】 **60点** ※60点を下回る場合は、個人に合わせた補講とレポート提出があります。

言葉の整理

積極的：自分から発信する。

貢献：この場合、仲間のみんなに努力や良いことをあげる。

最終課題

『私が思うその人にとって望む幸せ、毎日が最高!の日をデザインする（介護計画）とは』の続きを考え文章にしましょう。

指定用紙あり。400字から1200字程度。

小見出しあり。評価基準：ループリック評価

視点・基準	特にできる	標準的にできる	最低限できる	努力が必要
1. 介護過程の意義と目的	介護過程とは何かと、介護を必要としている人は誰か、自立支援とは何かを具体的に述べている。	介護過程とは何かを具体的に述べている。	介護過程とは何かを述べている。	左の基準に達しない
2. 介護過程に関連する用語	自立支援、利用者本位、（主体）、尊厳、ICFモデル、科学的根拠、意図的、PDCAサイクル、心身の状況に応じた介護、問題解決指向型の用語が正しく使われていて説明している。	自立支援、利用者本位、（主体）、尊厳、ICFモデル、科学的根拠、意図的、PDCAサイクル、心身の状況に応じた介護、問題解決指向型の用語が正しく使われている。	自立支援、利用者本位、（主体）、尊厳、ICFモデル、科学的根拠、意図的、PDCAサイクル、心身の状況に応じた介護、問題解決指向型の用語が使われている。	左の基準に達しない
3. 介護過程の展開	PDCAサイクル、目標設定、連携、具体的な支援方法について述べていて、介護福祉士になったどのように介護計画を立案するかについて触れている	PDCAサイクル、目標設定、連携、具体的な支援方法について述べている。	介護計画のプロセスについて述べている。	左の基準に達しない
4. 文章表現技法	読みやすく分かり易い表現方法になっている	小見出しなど、表現上の工夫がされている。	誤字・脱字・文法などに問題がない	左の基準に達しない
5. 分量	1200字前後	800字前後	400字前後	左の基準に達しない

この『介護過程の展開』を自分のものにし、
みなさんが、介護の現場に出たと時に
たくさんの人の**人生**にふれ たくさんの
エピソードが、待っているでしょう。

介護福祉士という名称に**なぜ** 福祉という
文字がついているのでしょうか？

そうです。一人ひとりの望む幸せについての**具体
的な支援**ができ、その**根拠**がいえる
その唯一の**専門職が介護福祉士**なので
す。

さあ できないことを**できるように**
みんなで いっしょに パズルのピースを
集めに行こう、そして**世界にたった 1 つのパズ
ルを沢山作りましょう。**

教員との連絡方法：メールアドレス：〇〇〇@

仲間との連絡方法：グループLINE



※個人情報には注意しましょう。



To be continued

